

## 令和元年司法試験の結果について

九州大学法科大学院長

堀野 出

令和元年9月10日、本年度の司法試験の結果が発表され、本学修了生20名が合格いたしました。

以下は、その成績結果の詳細であり、括弧の中の順位は全国73校中の順位です。

	全国	本学
出願者数(修了見込みを含む。)	4537名	67名
受験予定者数(修了者)	4506名	67名
受験者数	4081名	59名
受験者のうち既修者数	2252名	36名
受験者のうち未修者数	1829名	23名
未修者数／受験者数	44.82%	38.98%
短答式試験合格者数	2906名	42名(20位)
短答合格率(短答式試験合格者数／受験者数)	71.21%	71.19%(24位)
最終合格者数	1187名	20名(14位)
合格者のうち既修者数	901名	17名(13位)
合格者のうち未修者数	286名	3名(22位)
最終合格率(最終合格者数／受験者数)	29.09%	33.90%(11位)
最終合格者数／短答合格者数	40.85%	47.62%(11位)
既修者合格率	40.01%	47.22%(15位)
未修者合格率	15.64%	13.04%(29位)

令和元年司法試験における本法科大学院の最終合格者数は20名(14位)でした。最終合格率は33.90%(11位)で、全国平均29.09%を上回りました。短答合格率は、全国平均71.21%に対して本法科大学院71.19%、短答合格者に占める最終合格者数の割合は全国平均40.85%に対して本法科大学院47.62%でした。

現行司法試験がはじまって以降、本法科大学院の最終合格率順位は、平成18年17位、19年21位、20年18位、21年18位、22年17位、23年23位、24年14位、25年18位、

26年15位、27年11位、28年8位、29年19位、30年9位、令和元年11位でしたので、右肩上がりであり、上位10校に定着してきた状況にあります。

未修・既修別でみた場合、未修者合格率は13.04%(29位)で、全国平均15.64%を下回り、既修者合格率は47.22%(15位)と、全国平均40.01%を上回りました。

修了年度別にみた最終合格者は、平成30年度修了者が13名、29年度修了者が6名、28年度修了者が1名であり、その合格率は、平成30年度修了者が23名中13名合格(56.52%)、29年度修了者が10名中6名合格(60%)、28年度修了者が7名中1名合格(14.29%)、27年以前の修了者が19名中0名合格という結果でした。修了直後(平成30年度修了者)の合格率は、今後において法科大学院の教育力の指標として用いられることとなりますが、これが56%を超えたこと、とくに修了直後の既修者の合格率が68.75%と全国6位の成果をあげたことは、本年の結果の中でも特筆すべき事柄です。

ただし、以上からもうかがわれるように、本法科大学院の潜在能力からすれば、より高い合格率を得ることも可能でありました。今後においては、本学の潜在能力をストレートに結果に反映できるよう、合格率のいっそうの向上をめざして、さらなる教育の改善に取り組んでいきたいと考えております。ご理解とご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。